当院での地域支援活動への取り組み　～地域の関連機関と連携して～

医療法人社団生和会　周南リハビリテーション病院
万田　祥秀　二見　信次

【はじめに】

2025 年に向け地域包括ケアシステムの構築が進められる中、リハビリ専門職は地域包括支援センター等の機 関と連携して、地域住民の健康増進や生きがいづくりに向けた取り組みを行うことが必要であると考えている。今回、市役 所、地域包括支援センター、社会福祉協議会や地元の大学及び企業等と連携して実行員会を設立し、地域住民を対象にした 健康増進活動に取り組むことができたためここに報告する。

【活動内容】

商業施設、イオンタウン周南の空店舗を使用して地域住民の健康増進を目的としたイベントをイオンタウンが 毎月 15 日に開催する G.G 感謝デーにあわせて開催した。平成 31 年 4 月より活動を開始し、内容としては、In body（体組成計 ）、血圧測定をはじめ、協力機関・協力者の強みを生かした月替わりの企画を毎月実施した。

【活動結果】

平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月までの活動で来場者は延べ 1051 名となった。 イベントの運営は実行委員会に所属するリハビリ専門職、介護支援専門員、社会福祉士、保健師の他に、地域で活動する薬 剤師、看護師、カイロプラクターやボランティア等の協力を得て行った。また、イベントに参加した地域住民からは「イベ ントに参加して自分の健康について考える機会となった。専門職の意見を聴けてよかった。」等の意見が上がった。

【考察】

今回の活動を通じて、リハビリ専門職としての活動の場が広がったことを実感している。また、地域住民の方々と の関わりから、この活動が健康づくりや生きがいづくりを見出すための機会となっていることが感じられた。現在は感染症 予防対策のため活動を休止しているが、実行委員会の各機関と連携し、地域住民の健康増進・生きがいづくりに向けた取り 組みを今後企画していく。

【倫理的配慮】

本研究は人または動物を対象とした研究であり、倫理委員会の承認を得ている。